

繪本豐臣勲功記

四編
四





繪本豊臣勲功記四編四之卷

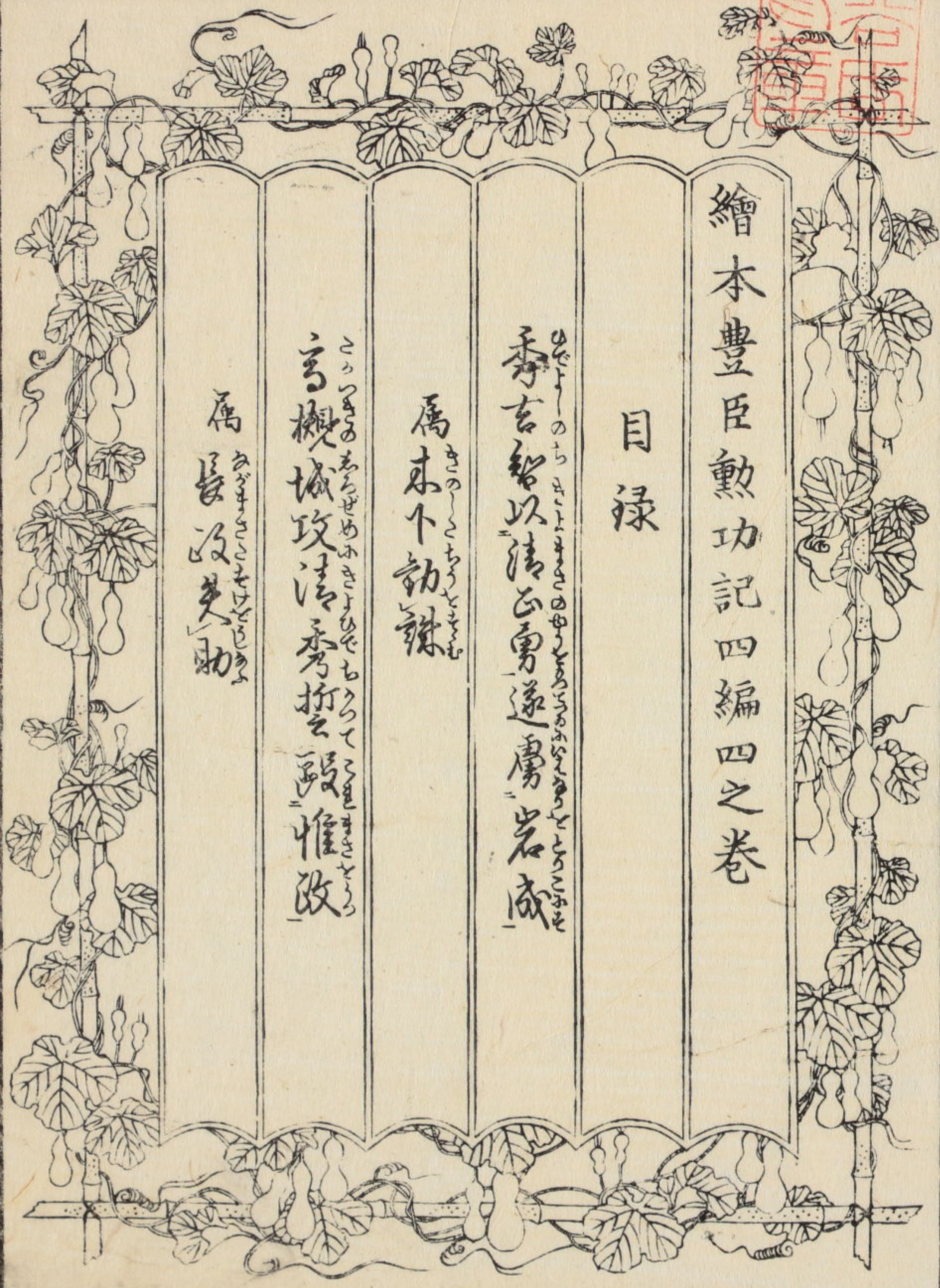
目録

秀吉智以清正勇遂虜岩成

属末下勅録

高槻城攻法秀折云段惟改

属長政及助



Vertical text on the left margin.

秀吉神策腹目根野見才

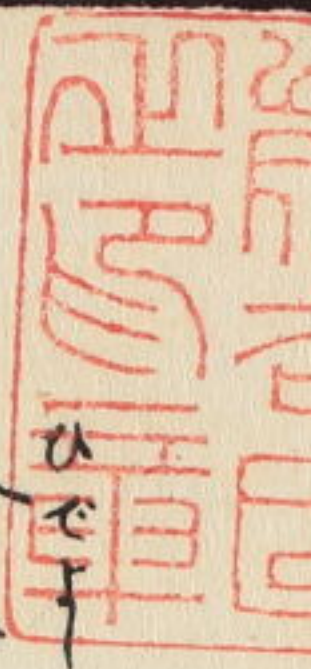
属江北对阵

若波吉継受謀棄又山嶽陣

属新倉退陣



繪本豊臣勲功記四編卷之四



江戸 櫻澤堂山 編輯

秀吉智以清正勇力遂属岩成属木下勲誅

その徳みふと其職小在る時ハ終結全くらざるべし。是利十代の主義眼
公その始覺慶得業と號まわらせ南都小在し。まじまじに遣公方小進
むの運あり。みどろき信の名ならんや。然るに還俗まじく。賸婦酒小枕
と如何や。天の佐くべき。遂小没落し。あひまひ。織田敬細川。小
命せ。楨の鴻せ。ちらせ玉ひ。懸して紫田。佐久間。七遣。波色宮内
破貝新左衛門と降らめ。波色破貝の二羽。北叡山。次小昭智光秀。せして山本
對馬。ちと攻懲。せむ。儲信。長小。同月廿一日。小上。洛。はく。都の勳。礼。と
漢ゆる。村井。式部。忠。と諸司。代。と。し。む。時。小。長。門。ち。茲。小。堀。川。跡。之。宗。

重ハ宇治川先進の功賞ありて名馬一匹賜ふ。別小忌祿加俸あり。元龜の年號ハ不吉ありて。敵意を伺ひてす。天正と改元せらる。廿七日ハ河船おろし。別言河郡ハ渡らせ玉ひ。本戸田中を攻め。小坂主名降参せし。此謀を以て。明智小賜を。廿八日ハ本小秀吉長岡孫孝を遣して山城國淀を攻圍し。同日荒木村重小余じて。和田惟政を誅伐せしむ。借も城別紀伊郡淀の城ハ。二好家隨一の長成成を。祝夕好道公方家の河原小隨ハ。遠城申小能長々。と義昭公を補佐し。参らるる氣を以て。唯將軍の威光を借く。信長と亡る方術せし。一と遠般織田勢上洛と。所公方家より。番頭大炊助。飯訪花彈者。三千余人の加勢を以て。淀の城を固め。と信長余を本小長岡の兩將小傳へ。淀の城小向し。む。兩將前後小備を以て。一攻と。試す小賢く。防戦と。見

て。形ハ後小力戦と。とも。益あるまじと。計後を設け。長岡孫孝。小向ハ。城を岩成好通ハ。と好家。を二の勇士。や。軍意小も。又賢。と。容易。攻接。と。この。も。加勢小。集り。大炊助。花彈者。の。あ。人。ハ。必。死。と。覺。動。せ。し。由。の。あり。と。利害。を。説。ハ。降。参。と。す。一。渠。俣。降。参。と。す。時。ハ。當。城。の。落。を。と。ま。り。あり。西。人。を。説。謀。針。ハ。形。段。と。と。叫。さ。る。小。を。長。岡。大。小。威。伏。也。身。あり。妙。あり。の。さ。ら。ハ。推。進。へ。と。て。準備。あり。二。千。の。兵。と。三。隊。小。分。ち。五。百。余。騎。ハ。城。と。去。る。こと。十。四。五。町。中。で。隊。備。せ。と。と。を。又。五。百。余。騎。ハ。本。小。が。所。黨。加。藤。福。將。を。外。長。岡。が。先。黨。小。も。名。小。負。小。勇。士。を。撰。出。し。城。と。去。る。事。六。七。町。路。の。左。右。小。懼。伏。せ。を。秀。吉。孫。孝。一。千。余。騎。小。推。進。せ。先。隊。の。者。小。ハ。鳴。く。大。吉。音。小。呼。と。る。あり。公。方。家。徹。運。小。進。く。と。と。本。河。内。ハ。河。邊。を。あり。と。余。の。河。自。軍。を。見。し。り。の。時。宣。隨。小。降。参。

せり。然る小當城一個。天時を惜らざる。僅の小城を恃りて。後田の
 大軍を拒む事。愚昧といふも。思ひ快理を惜りて。降参せざる。信長本より
 士を愛し。敵といへども。糧小殺さざる。故小降参を許し。軍の初て。恩縁を賜ふ
 る。小汝等。遠裡を轉(を)ひ。此の勇をたのむ。防戦するの機を。こらへ。氷
 の飛ぶ。急ぐ。熱湯海を。流す。小を。し。新ろ。花き。城。小。向。く。攻。落。さん。の。易
 々。も。大。將。殊。小。罪。なき。士。卒。の。換。亡。せん。陣。を。憐。れ。玉。以。遠。越。せ。ま。さ
 せ。ま。ふ。改。心。せ。り。降。参。や。返。答。せ。ま。と。呼。ぶ。る。小。ぞ。岩。成。好。通。是。と
 所。より。奮。然。と。て。大。小。怒。り。る。ま。さ。と。侮。る。事。思。は。れ。り。漸。散。し。異。を。罵
 る。編。務。番。頭。の。進。言。は。禁。を。理。ゆ。と。所。より。由。降。参。せ。ん。と。思。ひ。一。目
 指。す。と。心。を。通。し。今。岩。成。が。怒。る。と。見。て。彼。を。中。接。降。参。せ。ん。と。西。人。史。と
 語。ら。ぬ。と。所。の。遠。く。を。岩。成。と。初。め。る。小。ぞ。神。の。ぬ。身。の。史。も。初。め。と。一。千

余人城を推し。爾に。先小進ん。り。本下秀吉。是を見。て。是に戦。う。せ。こ
 じしが。備。負。く。敗。走。を。岩。成。勇。んで。進。む。所。に。長。置。横。合。を。突。出
 せ。て。戦。ひ。ら。る。是。も。同。く。新。起。ら。る。右。横。左。横。小。散。れ。を。本。下。再。び
 戦。う。返。し。戦。う。る。又。走。り。西。將。互。小。入。替。り。或。は。戦。ひ。或。は。走。り。一。時。を。り
 あ。ら。う。て。十。四。五。丁。か。ど。来。り。ら。る。が。遠。小。五。百。騎。隊。伍。ら。秀。吉。孫。孝。時
 分。の。能。た。ぞ。を。へ。引。込。せ。と。の。小。佐。小。五。兵。の。吹。貫。を。據。こ。一。合。を。せ。り。て
 自。軍。を。招。け。り。本。下。長。尾。の。西。軍。將。を。ま。小。新。隊。の。五。百。余。騎。一。段。小
 人。馬。を。こ。り。て。返。し。戦。ひ。を。る。と。擲。ま。り。け。起。か。め。た。呀。ん。で。操。り。し。く。岩
 成。將。は。是。ま。で。小。戦。ひ。旁。ま。ら。る。事。な。ま。は。遠。規。ひ。小。あ。ら。う。が。四。段。踏
 小。あ。ら。う。見。由。と。と。ら。を。落。び。合。圖。法。決。絶。を。後。の。方。小。部。を。ま。は。埋。伏
 せ。り。五。百。余。騎。二。隊。小。あ。ら。う。起。り。一。隊。の。城。を。攻。め。と。ま。を。け。一。隊。の。岩

淀城の戦闘
加藤清正
岩成
好通を
活捉



成が後より。炮發なりて帰路を遮り。軍急小攻なりし。城を以て
 狼狽發ぎ。孔起てぞ敗きを遠く。一隊は休む。城小向ふ。攻むる
 を。敵訪番領頼より。降参せんと。評決。はまば。櫓は上より。進参小
 向ひ。是より。兼て降参せま。岩成好通を。出括。早。城を。斬。た。な。れ
 一。個。の。自。軍。小。加。ま。り。て。降。参。の。體。を。あ。ら。し。玉。と。ま。る。を。發。小。も。と。番。頭
 二。百。餘。騎。お。て。城。を。出。進。参。の。體。と。一。隊。より。加。藤。福。富。輝。次。が。依。こ。の
 二。百。餘。騎。を。亦。混。じ。て。岩。成。好。通。が。後。より。兼。て。木。下。の。小。部。小。より。は。ま。ば。正。木。村
 井。と。依。進。参。傷。つ。て。二。千。餘。人。大。敗。が。發。せ。う。ち。更。へ。神。標。を。捨。抛。亦。救
 ひ。の。勢。の。相。小。亦。拵。成。小。近。づ。た。り。大。敗。助。多。く。は。て。軍。免。く。ん。一。と。も。一
 と。さ。ひ。の。當。小。急。じ。と。實。を。亦。好。通。力。を。得。く。備。あり。と。い。ふ。處。知。る。を。番

頼と一隊小より。退参さんと。亦小。大。敗。助。が。二。百。餘。騎。岩。成。へ。人。を。推。さ。り
 中。急。小。突。起。攻。む。る。小。ぞ。さ。り。の。好。通。大。小。驚。き。何。の。小。形。を。擡。と。る。ぞ。
 情。を。自。軍。の。拳。止。や。と。怒。り。罵。る。際。も。あ。ら。せ。む。加。藤。福。富。正。馬。を。逃。ら。せ。
 岩。成。が。側。へ。致。す。り。て。汝。知。る。も。亦。早。脱。小。帰。る。も。家。な。き。と。は。な。す。と。下
 小。退。死。身。を。當。り。と。ぞ。能。く。も。死。を。遂。ん。ず。り。吾。子。小。慕。む。と。嘲。さ。る。ぞ。
 美。一。文。字。小。擡。り。岩。成。大。小。憤。怒。む。借。り。城。中。の。奴。原。の。降。参。せ。し。と
 賞。へ。り。臆。病。未。練。の。者。軍。を。情。を。小。せ。し。こ。を。口。惜。む。と。さ。り。一。騎。小。も。せ
 よ。悲。し。の。の。の。の。の。の。血。截。せ。ん。東。ま。や。大。と。年。を。り。ぞ。加。藤。小
 ころ。戦。い。ん。と。さ。り。を。と。木。村。又。藏。後。將。岩。成。が。馬。の。尾。筒。を。切
 擡。り。五。人。あ。り。引。度。一。隻。子。小。馬。の。後。足。を。ま。つ。り。と。擡。へ。て。捨。小。せ。り
 人。馬。諸。も。横。相。小。地。响。言。く。倒。さ。り。は。ま。ば。正。縣。と。馬。より。逃。り。岩。成

小石川と引組たり。三務少将勇まこと。殺討の戦場小石川。疲れ倒れ。
 倒れ。とれたる徳と折敷く。志む計痛ゆ。今別逆とて力も出さ。
 かく弱りて身命を争ふ。徳正激まると。徳下小石川。逆小好通と活振ら。
 大將既小生提きて。六城を一人も戦ふのみ。怯畏きて散走を。本
 下長岡の軍多軍。此小逆逼彼小好伏。段段首級二百八十有。余級支
 が中小も。清心は。この好の鬼神と。呼ばせ。岩成好通と生捕。雀躍
 する。逆小好通。隊主秀吉小好通。松小本下。殊小感賞せられ。直城
 濱の城小好通。小好通。花守出。逆へ降。禮せ。城中小請官。秀吉
 孫孝と。谷倉。小好通。茲少。暫く。建卒を。芳ら。本下長岡の。西將の
 生提。降。奉。好通。率。俱。江。別。言。署。の。河。陣。小。免。あり。勢。と。言。出。
 一。く。是。大。將。小。も。派。く。後。び。時。小。岩。成。と。撃。出。し。果。と。帰。伏。せ。し。ゆ。ん。と。

理解たり。て。平。至。小。岩。成。の。猶。害。心。あり。由。今。逆。虎。は。逆。道。も。非。
 小好通と達せん。め。降。参。せ。る。小好通。信長小好通。脱。せ。ら。る。小好通。自。徳。
 と。解。家。と。ま。古。刀。一。口。懸。賜。あり。し。と。秀。吉。君。小。謙。言。せ。り。い。小。好。通。勇。士。
 小好通と。岩。成。と。助。ら。る。事。然。る。を。好。通。い。う。る。と。實。と。い。く。若。小。降。
 伏。つ。ま。ら。ん。や。今。備。く。命。と。助。ら。る。再。び。怨。敵。と。ら。ん。事。境。小。照。て。視。る。
 が。如。く。岩。成。誠。小。公。方。家。の。河。將。佐。小。好。通。し。ら。ら。ば。義。昭。公。の。河。將。
 小好通。岩。成。小好通。猶。勇。の。者。な。ら。
 公。方。家。河。大。事。の。期。中。も。ま。ぬ。ら。さ。ぬ。濱。の。居。城。小。引。引。意。は。し。是。信。社。
 護。接。あり。遠。道。濱。の。一。戦。ハ。岩。成。が。力。の。あ。る。け。死。積。と。さ。て。戦。ひ。う。と。も。
 渠。が。運。命。竭。する。由。虎。之。助。小。好。通。と。誠。の。勇。士。た。る。の。が。聲。言。者。免。
 せ。ら。る。と。も。速。小。死。と。誓。む。さ。小。好。通。と。な。り。て。助。命。と。欲。び。降。参。せ。し。向。心。

豊臣評伝 巻之四

一

父人の作や。任有ちが鬼神や。猛將ありて。厥の怖くこと。のち日
 合戦始ら。乃子誓つて。和同と闘へ。所意寧く思へ。ゆせ。用能く。諸
 あり。誰小や。あると。思て。あ。い。橋津守村重。申川。御平。津。秀。あり。時。賢
 大膽不敵。小。一。て。軍。意。小。も。ま。賢。も。ま。諸。軍。士。漸。平。を。廣。ま。せ。心。懼。く。思
 けん。新。の。度。ま。入。言。を。や。軍。調。小。當。て。蔵。り。戦。場。の。備。員。ハ。決。し。ん。死
 小。心。卷。の。強。を。吐。く。を。の。い。を。申。川。も。笑。ひ。者。ハ。款。の。勇。の。獲。て。自。方。の
 軍。威。を。滅。を。詞。を。も。益。め。ん。論。後。せ。し。り。の。聖。の。戦。場。小。和。同。を。敵。を。後
 言。此。廣。ま。し。獲。れ。て。詳。小。和。玉。と。謂。放。く。吾。宅。小。帰。り。軍。の。准。備。を。松。小
 覚。彌。を。入。へ。七。月。亦。九。日。荒。木。橋。津。も。村。重。ハ。百。余。騎。を。引。率。く。吉。柳。さ
 して。推。出。し。馬。塚。の。の。丘。小。陣。を。構。へ。和。同。惟。政。を。怒。り。め。ん。使。者。を。以。て
 城。中。へ。過。言。の。限。り。を。謂。送。ふ。小。を。辭。言。は。瑞。々。伊。賀。守。惟。政。勃。然。と。て。憤

今馬塚
 村あり
 採り馬塚
 の山下
 西陣の
 多し
 廿余町
 川あり
 西陣
 小あり

然る。從。東。の。不。和。あ。り。小。ま。ま。と。し。津。長。一。つ。使。者。を。吐。つ。て。追。逐。し。進。時。軍
 七。調。へ。く。と。百。余。騎。を。堅。固。小。備。突。然。と。て。推。出。し。糠。塚。小。隊。伍。と。て
 たり。荒。木。が。使。士。疾。走。返。り。和。同。の。返。答。を。報。む。る。を。小。村。重。堂。を。拍。く
 歎。ひ。吾。謀。計。全。く。熟。せ。り。方。僅。者。一。城。を。推。出。さん。小。と。後。同。も。中。ら。使
 賀。守。糠。塚。小。出。く。信。陣。一。と。て。村。重。遠。小。を。親。く。自。軍。小。軍。威。を。灌
 ひ。て。い。ふ。や。う。者。倭。あ。ま。と。統。者。を。欲。ハ。糠。塚。小。陣。を。斥。小。勢。に。く。も
 自。兵。の。隊。備。ハ。最。こ。ま。じ。き。馬。塚。小。あり。糠。塚。小。あり。馬。不。會。く。の。め。ん。ぬ
 天。然。の。理。の。符。合。を。と。り。と。自。方。の。勝。利。と。目。當。小。天。口。あ。り。と。報。う。る。を
 公。軍。統。め。や。收。進。め。と。荒。木。が。下。稱。小。之。隊。の。傷。を。昨日。申。川。の。廣。言
 と。と。と。柳。ぐ。ん。と。思。ふ。事。あり。と。又。此。中。に。大。將。村。重。信。の。激。勇。の。一。句。を。演。う
 小。諸。軍。士。の。統。率。を。い。らん。や。別。火。の。如。實。登。一。と。い。ふ。和。同。惟。政。憤。然。と

豊前守の御書



高槻
攻不
中川瀬兵衛
和伊賀守
殿扱

豊臣討伐記



中川瀬兵衛討和伊賀

豊臣討伐記

多く相合なるが伊賀者ハ病後との戦勞をてありたる由申川瀬平小
 組布を創進をた力なり終小撃まで死しハ惜まも程余あり
 々々清秀ハ聴く首捉あげ大言者小松列小松く遠年月鬼林の
 如く沙汰をる和同伊賀者惟政を申川瀬平清秀が吹自の軍約
 小違をり新の如く殺捉ら敵ハ瀬平が當標少く初自方ハ清
 秀が推善ハ一親の慮一うぬを繼ぎとさう小争をりたる由を發小清
 秀ハ身代の名士ありりと敵も自軍も感賞一たり素惟政が武勇
 猛力清秀ハ勇らざるも瀬平ハ軍意小賢死士の是バ花日諸
 士と列せりん為拵りて和同を撃とるべと發うが小面をせと諸士
 其心と惜らざるにやあう笑ふと今さう小愧是より上下志腹一りり
 櫻の城中ハ大將既小弱きとるに後々睨くも散々をを流木のそ士

隙隙もされ程退逼く。戮辱ら苦もろ城を棄る事終治伸
 せ。信長殊ハ感賞せらる。續て池田伊丹を征討小及をてる小
 流後守勝政馳のいさめく陣謝せ。信長も是を討めはけき。バ
 紀伊守野(潛登)と出家深家の身と化果たり。伊丹親與ハ芳術のあり
 戦ひるまども隈小九牛が一毛のまはる。名流なく笑ふこと昔哀の纏ひ
 するまは然かど小信長ハ數日の間言馮郡小立し。諸市の政事も相海
 一ハ八羽の賀と兼て林庭(免)あり。所擇をを奉り同月四日の朝に
 小法皇(南)城はしく。史の圖に記さる。淺井備前守長政ハ公方の
 所憎とあじと僥倖。甲列の武田信玄と謀と謀合。織田と挿んで撃んと
 せ。信長ハ強運のちあるじて。信玄不意小病死せ。長政からく
 言を笑ふ間もあらで。公方家も南進す。今ハ淺井家一寡とあり。

豊臣評四編卷之四

十一



安養寺
三郎左衛門
貞庵と
故郷小
歸去は



あり。是小属くもろく。俸調えんと思案あり。日根野が住居小を死せしむ。
 誰謂そく風徳をさす。日根野は身月来日比濱井の援助をうけら。
 長政の情を小意せむ。おて仇をささる。と長政父子を意を殺し。
 之を虚實せり。伺せん。か時く使者を遣す。野小遠岸終之の敵有。長
 政深く是責を殺し。後の患いと除ん。情小謀戮の企あり。とち。野小
 ぬろ。小ぞ日根野は身をもと。来ハ心惑ひ。時。境をさ。この流。之。実
 と心得。方の要。信小急り。ぬ。此地。と。退。ま。んと。す。ま。る。が。ま。家。龍。真。小。も
 越。前。小。深。遊。て。才。保。善。く。と。娘。酒。小。長。ど。る。所。あり。由。遣。く。練。書。を
 贈。る。と。の。こ。も。す。ま。と。も。所。答。を。ま。六。兄。身。家。小。詮。方。を。え。限。果。て。今。わ。を。や
 家。才。の。安。否。を。懐。察。と。小。過。日。竹。中。重。治。が。云。せ。羽。の。の。く。小。衛。心。せ。と。右
 や。た。と。沈。吟。小。狗。を。煩。り。り。然。る。小。深。井。家。に。人。も。日。根。野。は。身。が。此。来。月

遊。宴。と。あり。ま。ろ。ま。車。の。標。面。の。を。小。して。その。内。心。の。織。田。家。小。属。一。自。方。の。諸
 士。と。欺。ひ。て。信。長。へ。降。ら。ぬ。ん。が。為。り。と。區。々。小。流。語。を。せ。ら。り。さ。り。末。下
 野。が。言。が。辯。る。こ。ろ。の。流。言。を。し。長。政。は。ま。と。を。所。より。も。い。う。さ。日。根。野。は。身。の
 吾。願。内。小。住。居。一。の。自。方。の。技。助。と。あり。も。せ。を。所。答。と。稱。を。名。城。せ。ら。り
 小。流。語。小。遠。を。織。田。家。小。属。一。説。客。の。為。小。あり。め。た。ら。ん。ま。あ。一
 小。こそ。自。方。の。諸。士。虚。を。殺。つ。て。信。長。へ。降。参。と。言。ふ。と。覺。ふ。り。迷。小。渠。を。除
 どん。が。遠。ゆ。の。災。禍。を。懸。を。せ。り。小。と。既。小。害。心。の。能。し。これ。を。決。定。を。信。長
 とも。視。認。得。ま。ら。ず。麻。本。小。の。目。と。着。て。野。心。と。ゆ。さ。り。由。一。信。長。公。方
 家。才。の。挑。合。中。も。日。根。野。は。身。小。心。置。ま。と。を。答。軍。も。の。こ。を。過。り。然。る。に
 信。長。諸。將。と。乘。流。一。以。京。一。帰。城。せ。ら。り。日。の。秀。吉。も。自。軍。を。率。ひ。て。虎
 洲。前。山。一。を。歸。り。日。根。野。が。境。境。を。具。小。関。志。う。六。尋。地。小。料理。を。ん。こ。ん。



秀吉神策休目根野兄弟 属江北对阵

火を冷まし氷を熱くしむるも日根野が鐵石義勇の心解しむるはと
 うららん小今木下が討つ所ハ八臂六目の天魔も亦是業ヲ謀源と知るに
 至らん然かど小今木の兵軍ヲ斬百姓の打拵して日根野が困居小走ら
 づまの戸敷て是ハ鄰村の百姓あるが言言を聞き詞ありて夜中から走
 るるあり。用玉と呼ぶ小今木は設る日根野兄弟諸己を奸輩とせんを
 門の左右小今木は潜めて一個の小僕小門を穿させ。二十余人の百姓を愈残り
 内へ穿させ身を迷く之を淡固めて有。五とものささだ。編着拙者一個も余
 さで捕ら。百姓軍の懼怖さ五神と地小投泣喚くを撃らては義勇税
 せが仇小今木是は小炮短刀ありひく小溜持ら。俵と蓋の根とひとく振を
 異口同指小白杖をさす。俺們的な淺井新七亦敵小龜傳さる軍後の

軍小今木が如何なる不審小今木兄弟を活安ては編あり登く謀殺せよとさす。
 俺們小今木不意小軟弱。小今木は非なく急らつても敵討心あり
 小今木六六針の救さきてよと嘆せ所て備中守の故地新七師八来ら
 ざるやと訊き六六然ハ流渡の人せうち捕ら小今木は行も仰しは六六汝們
 傷りを傳て兄弟の者を殺さす。若子小今木六六狭狭とせよ我輩を
 殺さんとの約束ありと聞て兄弟二人小怒り斬七師吾儕を侮らんとし何ぞ
 巧まを能くしん今者よ業ヲ業願殺て此替傍を掃さやハハるるべき
 ぞ憎き小冠者か拳止らむと血眼なして罵らむは六六百姓軍ハ怖く我ら
 らるるの木の百姓軍小今木は軍後炊事小當らきて斬七師敵のを捕ら
 遣り世上の流言小沙井の滅亡をた小有と所小つは如何小も今木古々
 へ歸り親や婦兒小逢さ侍も。引當らむ且を送らぬ明日小も合戦報



秀吉智と
走らせと
日根野の
兄弟
欺て

ら六殺さるるんこと悲しくい今宵は命を助あふは村七商賈を欺ひく
 是中を伴ひ東をべと慄ひながら小濱を走見す然るは汝を走るは汝を走る人
 馳降りて村七商賈を呼出さるるは如何と欺出をぞ「然るは汝を走るは汝を走る人
 も吾を走ると見す衆の連も吾們が力小及ぶを難免の由と伴ひて
 さへ逃小来り申す。其其の兄衆衆百姓輩と對子小。競争ふ
 然小してや。在在とと東を小ぞ見す實小もとこをを誑ふ彼之人の
 途を急ぎ。新七商賈が郎小到り。吾儕の丁野の百姓輩も此方の密を
 日根野久末の人々ありと今日暮近刻村中の豪家々々へを醉
 小推投淺井新七商賈の衝指ありと。金銀米穀と棄投非道と
 ありては如何の故や兄衆衆慌て家社と拾収此地を退きの
 さるる由へ村中の輩もと遠尚棄集ひ而らばし金銀を取込さんと今

まを小言戦の最中ある。定て礼坊のしつらへ登り心結め下さるべと実小言
 小新下へ新七商大ひ小競き。諸日根野極非道となく。織田家一降参
 まるるゆはる。史述をばしと。推投掛在合をる軍卒を四五十人ほど
 率隨へ逃ぐ。継げと謂養て。正一門地小強中。此は日根野久末
 細作と申す。竊を也。小濱井新七四五十人小て松炬あまを振照烈然と
 と推傍る日根野久末の門外中。彼生投の百姓們と戦ふ跡をり。と
 新七遠小こまを看て。諸日根野の百姓を懼るること情懐なきと悲唱
 一書鞭を鳴して。ま際近く馳着るが。今や見すと戦ふる百姓亦
 於の女四五人忽地淺井が房へ向ふ。吾院敵軍寇突驚。淺井が公を
 うち襲き。新七の機略よと。争をりれども耳小も通だ。を二をこ小陰算
 を作て攻る。淺井新七驚りながら。隊の老輩小小禱と。日根野久末

豊田新田編纂之四

十七

逃さむと真なる声小孫右衛門横怒小根を馬と逃れを正先小突出。
 後編未練新七郎そと寸も退事なるは汝を殺て俺們が恨とせら
 さんゆれと罵り。駈く義と新七郎も陰推搦く起向ひぬ。今迄
 歎ひ。彌次右衛門極威を奮ひ電光の如く赤出を去り流新七郎と高腹
 小馬より下へ破く落し。威小業く強起るまは強きいなる逃さず。孫小
 勢の子と共らむが像く。余らむが逃去ら日根野兄弟勢成るといふ小
 とも蓋ならん早く退去とべーといひ百姓輩も一過交ひぬち新選軍
 あるべー。とましく引導つるらんて。園次小業とて丁野と強根田川の渡
 根野川とへ出んとする小雲雀山と虎所山の際小隊仕と連る勢あり。園
 次小業とて定らぬ。ぬと沙井の勢と覺し行先を去と喰止て通さぬ
 とて下めひさ。兄弟難とらち笑ひさ。ましく向るはけらる自己こがふとわら

ぬ俺們が名も知らざるあつて。日根野備中が弘就同孫次右衛門弘徳のそ
 坊より二つた命とまひ位向ると。呼をるを破軍勢と兄弟の殺賊と
 新選軍とめ最先より待得らる先尋常小傳せらま。と馬を推捕
 せとて兄弟の眼と眼ら。まは強散し通らんと多勢の中へ突搦せん。
 と牙構を。機會こそあま。虎所山の山上より。四五十の勢と馳下り
 流井勢と突起。四角八面小退散を中より一將正先小進。行者を
 まは強と化す。茶小を流の戦とぞと呼らる馬を強道を松根の
 先く小助退て。まは日根野が人のあま。故の強動とて向ひ。列
 人あま。竹中守義重流ら。兄弟の者勢死ら。事の本来とまら。小
 重流もま。とてく。所て其勢あらんと思ひ。由徳。足下解が解小おむた
 伝義とて。理解と流ら。今もま。過ら。満とされ。是

日根野の
浅井の
新七郎と
碩る



新七郎と碩る

四

ようのつゝ(志行んと欲し)なすふや(夜中殊におく)て(諸次山坂あり)小見
 あらん(四時好きの乃丈)のまじり(悪く)いたる(い)東(を)返し(ま)ら(今)昔(の)書(陣)を(一)
 来(り)て(休息)す(玉)へ(と)勅(め)ら(る)も(行)つ(た)當(の)め(た)身(の)ま(じ)り(行)中(重)治
 小(治)志(小)随(ひ)虎(河)希(山)の(城)中(へ)む(ま)り(共)小(入)る(是)る(の)秀(吉)の(智)略
 小(治)志(小)治(ま)一(軍)營(を)涉(井)勢(と)見(せ)ら(し)も(本)下(隊)の(首)士(の)流(石)途(中)
 せ(場)げ(を)行(中)せ(る)場(へ)入(り)て(目)根(野)見(守)と(逢)入(道)を(と)め(謀)計(の)鬼(林)
 も(肝)を(冷)め(ぬ)へ(首)尾(整)つ(て)行(中)日(根)野(見)守(を)城(小)侍(ひ)こ(陣)中
 請(入)金(懸)切(小)會(意)を(涉)井(家)と(違)を(せ)ら(る)上(へ)の(御)意(を)お(も)は
 玉(ふ)こ(も)心(の)ま(じ)り(人)を(論)せ(る)信(玄)既(小)病(死)し(北)
 茶(の)最(手)弱(り)謙(信)の(四)方(小)敵(あり)て(他)國(者)の(用)め(ま)じ(今)眼(前)の
 理(を)察(し)時(運)を(謀)つ(て)小(治)鐵(田)家(小)侍(仕)せ(ら)る(天)道(小)龍(の)

張(ら)んと(種)々(利害)を(見)ま(小)治(兄)才(今)心(を)傾(け)行(中)の(朝)小(随)ひ
 鐵(田)家(小)侍(ふ)ま(き)り(ま)ま(重)治(を)と(本)丸(小)治(本)下(形)と(告)げ(せ)し
 小(秀)吉(又)小(敵)脱(り)時(小)治(才)と(本)丸(へ)請(入)金(懸)切(小)會(釋)し(て)
 足(下)備(の)言(勇)大(智)と(り)て(戦)小(治)本(丸)と(ま)り(事)珠(玉)の(光)り(を)強(を)小
 治(ら)今(より)而(志)を(兼)め(玉)ひ(鐵)田(家)小(侍)仕(せ)ら(る)緯(天)下(の)大(幸)信(長)の
 満(足)目(各)々(の)達(運)を(ま)り(信)長(も)日(あ)ら(だ)して(當)國(へ)出(馬)あ(ら)れ(功)と
 あ(ら)じ(名)譽(を)と(り)而(年)の(後)小(治)強(く)な(と)味(意)を(く)り(て)な(る)小(治)日
 根(野)乃(才)見(喜)ひ(涉)井(家)の(給)助(と)翻(て)換(り)勇(士)と(重)ん(と)り(や)ま(り
 事)と(別)々(本)下(を)懸(切)小(治)増(々)感(伏)は(紐)く(安)途(の)思(ひ)せ(り)と(り
 備)秀(吉)より(是)條(の)越(き)あ(る)び(小)阿(南)保(が)自(軍)小(屬)涉(井)家(對)敵
 の(色)を(見)せ(る)小(治)涉(井)の(軍)忠(悖)防(禦)の(方)御(も)疎(り)征(伐)の(响)應(し)

たゞ不意に河出馬をうぐ。と八月八日夜の夜伸あり。信長も驚き所へ。小曜
も返喜び玉ひ時を移さむ。諸方へ徇らむ。夜はうも小信長信忠河父子
攻車城と出馬あり。翌日の虎河若山(若陣あり)諸城退く。馳せられ橋出
城より虎河若山を。旗籠陰丹元満を。秀吉別地小日根野見せし。侍の
色。河目見おさしめり。小より。信長殊小河安悦あつて。遠後忠志と。蜀を
し。懇懇小余と出さむ。河馬あぶ。小河方と。見守の人へ。賜り。日根野が
大悦限りと。知れ。軍と寸切も。降く。一。初ま。で。厚き。恩。降。入。真。加。小。河
ま。る。遠。化。り。軍。忠。志。と。殊。小。河。ト。重。事。こと。就。之。赤。比。退。出。を。然。ハ
織田家軍。懸。へ。野。小。山。小。も。元。満。ま。る。沙。井。の。こ。も。ら。ら。恐。き。怖。も。
月。之。瀬。の。城。自。野。若。狭。ち。五。百。小。是。ら。ぬ。小。城。也。加。勢。と。も。ど。も。ま。る。来
ら。む。守。り。取。さ。と。察。し。これ。自。軍。と。換。ね。も。亦。と。て。夜。の。際。小。山。を。退

△河上の宿
ハ裁茶樹を
小若の後砂
とつり
△山田村と
との宿のま
とるわら
あり

陣を敵地大軍新法如くあり。うへに。義系の出張せぬ。ち。新倉と沙井
が。通。路。と。新。截。助。合。入。事。と。難。く。し。ゆ。と。河。下。禰。あ。つ。て。柴。田。本。下。安。内
者。六。河。内。沙。路。も。多。資。影。左。衛。門。山。法。源。を。左。衛。門。候。と。當。副。ら。む。馬。上。の
里。中。で。遣。を。大。將。信。長。翌。日。山。田。村。と。出。張。あり。又。ハ。擡。是。ハ。河。上。と
月。之。瀬。の。事。也。長。政。頼。之。信。長。が。京。都。より。の。返。り。申。小。山。の。城。と
攻。り。い。ん。と。急。き。越。前。へ。使。者。と。馳。義。系。小。出。馬。と。も。も。武。部。河。内。系
境。小。向。ふ。ま。は。し。命。を。と。し。こ。も。所。勞。と。苦。し。出。軍。せ。を。魚。住。備。前。ち
小。下。禰。も。小。是。も。禰。退。り。る。也。義。系。も。う。う。と。万。余。人。執。賣。坑。を
出。陣。せ。し。と。死。信。長。の。も。諸。將。を。采。治。し。河。原。城。せ。ら。し。義。系
小。も。か。ま。ま。思。ひ。志。也。故。河。内。遠。留。立。と。し。河。の。境。漢。を。伺。ふ。再。び。河。馬。を
棄。し。河。井。の。勇。士。河。内。と。結。め。ち。城。の。人。を。要。し。り。月。之。瀬。の。城。も。敵

河上紀四編卷之四

多くはとて避んことを信長と義宗長政と軍勢の多寡を論せり
 織田の援兵五万余騎。津井船倉の四方五子たるをの遣ひのりといふ
 又將勇士小強弱あり。繞む自軍の益をめて。怖る。敵と闘ことなれば
 尋常の軍をとりふも。勝致は小分なり。然ども本小秀吉の戦ふと
 名士と様せん。いと遠小一ツ計奇計とす。まづ大嶽を攻落さんとて
 さは降し。越前武士前波九郎多満と情小招れ。是も小織田家小来
 りて忠義を竭きて。死志のまほしき。一分の功も達せど。今敵の對陣を
 考ふる。小津井船倉滅亡の時。弟小来たるあり。功とらるも。今この時。當
 り受も。遠はあり。是も遠達謀く。尚忠功の沙汰する。政心ありと
 辨辨せらる。遠小幸ひ。今是も。大功とす。得てを。起る。ね。病苦と辨せ
 是と料理。首尾よく。は果せらる。ん。は。越前。邊。治。を。二。の。功。あり。諸ひ。と。多。る。

いふといふ。前波吉継を聴て。命せふ。あづる。速も。いふ。も。ひ。て。忠。功。と
 達す。く。あ。る。る。方。便。の。あ。る。バ。教。へ。玉。と。い。ふ。小。本。下。耳。小。は。せ。奇。惑。と
 詳。小。叫。ひ。り。吉。継。所。て。大。小。喜。び。を。準。備。と。ぞ。や。う。う。う。と。総。小。大。嶽。之。の
 曲。幅。と。も。り。る。後。見。對。馬。と。系。親。は。前。波。九。郎。多。満。が。妹。督。小。吉。継。と。い
 縁。中。あり。更。と。心。的。と。十二。日。の。夜。前。波。九。郎。多。満。は。獨。情。小。津。井。船。倉。に
 り。織。田。家。へ。降。参。せ。ら。る。と。古。と。巧。小。理。と。款。を。小。對。馬。も。淺。井。船。倉
 滅。亡。と。る。の。遠。般。あらんと。情。と。り。思。ふ。機。合。あり。忽。地。前。波。が。幼。小。隨。ひ。降。参
 の。事。と。約。し。る。小。と。吉。継。則。對。馬。も。小。謀。と。謀。合。せ。二。は。曲。論。の。軍。の。多。少
 井。家。の。侍。士。も。結。の。丸。の。諸。士。と。り。と。ん。と。後。見。對。馬。も。小。案。内。と。る。前。波
 の。後。も。秋。藤。刑。部。小。林。左。衛。門。豊。原。西。方。院。小。對。面。は。前。波。吉。継。と
 と。密。め。て。其。言。を。と。ら。く。乃。更。の。教。示。の。奉。行。あり。が。義。宗。圍。弱。小。と。仁。義。と

志々ど家人を憐む心なり。忠を以て用ひては、
 國政正しうらむる。軍家不滅の事絶論あり。いそぐ大國を有つらんや。今中を相續せしこ
 ろの譜代の勇士多き故なり。然るに義系、世道中にて天誅下る時正れ
 り。良臣忠士ありては、或の老て達用せざれば、只今用不達せし武士、山崎
 長門も一人あり。然るも義系、愚將中にて忠良の臣を以て用ゆる事なり。山崎
 吉家、孫兵子房の才ありとも、幸々朝倉の滅亡を佐得る事あり。是
 義系が天誅の道に在りて、所謂各這地を堅く守りて、戦死をともす。益
 さらん居る者、死せりて、忠を以て謂ふこと、事ハ侍る君の仁恩、小報ひ
 んごの義信を以て、義系、思疎して、倭奸新喜の族を愛せり。不忠義の侍
 ハ常不諂者の古友を思ひ、行時も安んじたり。活る愚將、小死せりて、報ふ
 の不謂ひるべし。若くは至理を以て、織田家、小報付し。至るは、又意、小報ふて

子孫も報ふ。名譽も末代、小報するも、浅見も既し心せり。織田家、小報系
 中、畢ぬ心と決し、一と理明と責て、諒する小也。秋、孫、小林、忽地、迷ひ心せ
 り。下て、帰仕あり。教、不信せり。降参せんよと、推参し。至るも、報受し。至
 バ二人も、安途。然るに、諒するの報として、一の功を達せり。手、足、今宵、小居と、決
 殿の、と、りて、二の曲輪を攻む。後、援の、小、りたり。却て、己、小、責、玉
 然るに、人、浅井の、り、け、も、逃、出、さん、の、必、定、り。備、二の曲輪を、系、控、す。我
 小、續、ひ、て、龍の、九、へ、攻、撃、す。各、志、士、さ、し、一、戦、ひ、防、衛、の、方、便、つ、た、り、体
 小、て、回、神、山、の、本、陣、へ、赴、き、智、吉、と、奮、り、て、義、系、を、多、く、小、報、め、り。多、く、この、傳
 成、就、す。小、お、お、り、軍、功、右、小、出、る、り、は、恩、賞、多、く、也。情、大、り、と、り、
 々、小、お、お、り、の、躍、悦、を、是、を、以、て、諒、ひ、軍、功、小、違、ひ、重、く、と、り、若、波、吉、健
 と、還、り、り。九、部、を、湯、本、中、を、諒、小、列、す。四人の、恩、受、を、告、り、る、小、也。然、ハ、討、刺、を

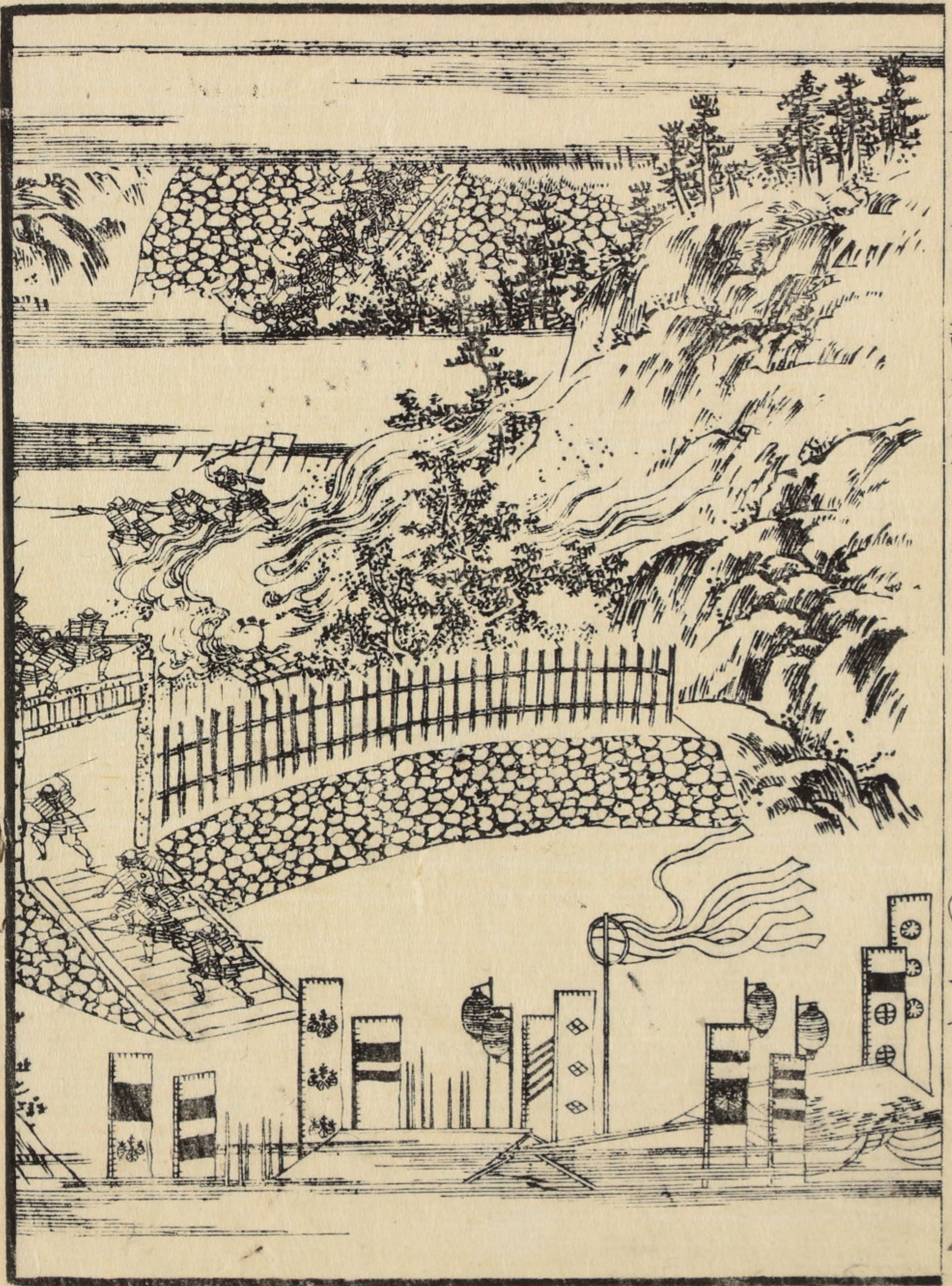
後を急ぐとて富田の陣を離れ、毛呂猪之助増井を内儀、執事としての
 隆人、小土糸と数多當副て、新波、波見、加勢とて、別小張、心、心、心
 士五百、金、猪、標、び、出、して、是、を、は、し、そ、推、出、を、ま、し、一、下、穉、を、傳、へ
 ま、ぐ、遠、首、を、本、陣、へ、出、し、直、地、小、大、嶽、へ、う、を、さ、う。既、小、焼、尾、大、嶽、の
 曲、師、の、丸、小、入、る。是、は、本、下、が、後、心、の、急、士、五、百、金、猪、を、相、違、く、小、土、城、に
 際、と、断、裁、隊、伍、を、着、重、小、園、め、さ、せ、五、人、の、勇、士、の、勇、地、小、二、の、曲、師、へ、推
 進、息、も、進、め、を、攻、ま、る。遠、丸、の、守、將、の、淺、井、の、家、長、井、口、越、前、守、
 千、田、兼、女、正、の、り、る、が、力、を、竭、く、防、ぐ、と、い、い、ども、こ、は、曲、師、の、既、小、兼、女、
 是、今、手、で、自、軍、と、思、ひ、つ、る。對、言、も、ま、で、織、田、家、小、加、へ、う。攻、ま、ら、ま、て、井
 口、千、田、始、死、く、り、へ、る。お、う、う、詰、の、丸、より、小、林、秋、藤、自、將、と、成、り、突、撃、せ
 へ、備、へ、後、援、の、来、り、ぞ、と、悦、ぶ、よ、こ、を、甲、斐、も、な、く、却、て、進、軍、を、援、る、体

あり、月、へ、あ、ま、と、も、夜、中、を、ま、り、敵、の、自、軍、の、見、を、ら、を、遂、小、進、軍、小、兼、女、
 井、口、も、千、田、も、防、戦、詰、を、詰、の、丸、へ、引、入、ん、と、致、せ、り、ま、は、進、軍、へ、速、く、も、詰
 の、丸、を、賣、ら、ま、る、由、り、是、も、小、兼、女、を、と、り、遠、く、虎、口、を、逃、出、り、う、新、波、
 見、の、自、軍、も、つ、が、を、詰、の、丸、へ、攻、ま、る、小、張、一、合、を、一、事、を、ま、り、守、將、之、人、防
 ぎ、う、の、小、兼、女、を、逃、出、し、義、兵、集、計、本、陣、を、回、神、山、當、て、敗、走、せ、り、淺、井、
 兼、女、情、を、切、ら、ま、り、大、嶽、山、の、要、塞、も、一、夜、の、う、ち、小、兼、女、を、一、く、左、右、小、兼、女、
 曉、く、大、嶽、嶽、の、丸、の、番、隊、少、く、不、破、塚、本、丸、毛、の、諸、將、二、千、余、人、を、こ、れ、小、張
 置、十、三、百、の、早、矢、より、新、波、波、見、田、毛、益、増、井、淺、井、見、兼、女、阿、岡、又、子、を、と、り、降
 参、の、諸、士、隊、を、魁、起、本、下、是、を、督、領、し、て、丁、野、の、城、へ、提、薨、堀、ひ、さ、な、う、う、燃
 祭、を、う、り、是、を、う、け、こ、う、丁、野、の、城、の、僅、五、百、の、急、を、り、て、此、一、構、小、兼、女、城、一、を、
 こと、の、ま、り、暫、時、も、保、つ、と、被、は、し、と、慄、怯、て、ま、る、が、城、の、守、將、中、津、兼、女、を、つ



秀吉 謀略 前波 倭 大嶽 三廓堡 陥得

豊臣記 四編 卷之四



豊臣記 四編 卷之四

七七

系統一平治道をぬる覚悟一進み遅しと待間もあらずと織田の軍
 城際中を善地小せぬ進る响秀吉を波を拒げし丁野の城を河渡
 さば今ハ助け得さるべきは重し贈るもこの言継こそと承り中津
 方へ使士をりてその旨言遣し小死を極る言集が今を助け返
 と所いりりて恨をざらん早速城を渡さるは中津より返答あり
 進る返りて退きて城をどゆと退きおしむ中島が軍へ悉く城を立
 思ひがける助命を得て田神山へを奔走しる秀吉軍の本軍を信長
 言はせし返るも感懐せらるる然る遠方より軍を初め有る
 公戦の事とぞと宣ひると秀吉割て情小重し上りて中津へ公戦
 と止る今日一日と澄命を玉へ必死義系頼小公田神山と退陣を
 べし信長諸将も命せられ退段の準備とひさしめたる君も信長

漸く漸くあり頼頼しるを後至一却の退治と退段の事十分の勝利と
 得て越前もも属投下然る所謂大嶽の守將淺見と共不降をせし
 小橋孫兵衛が軍謀と會合ぬ大嶽の防戦請えぬ信長田神山
 せ義系小津とくと初むれば謀命を置こま必死今言ハ大將義系田神山
 と退陣とす是小仍て退段の準備必要と推せし信長大嶽
 ましく後も料理果せしむる奇代不思議の妙策ありと感懐を述
 玉をど昂時小諸士へ御下辞ありて義系今言退くべきは退段の準備急
 りく相復つれば伯尾さき只管款陣小眼をつけて瞬もせどおしし備え
 小橋孫兵衛十三日の曉あくる大嶽の陣を退き田神山へ遁帰り義系小津
 たる中津を堅固守り防戦の準備急る軍威屈せを控ゆる不焼
 虎の曲輪を築く所見討馬も要しは織田勢とて自己が陣をいれ



信長の憤激
 正魁を打つ
 朝倉を討つ
 追討せよ



とて驕る事や。武勇小治のくハ何れもくたな事小治を事のある海をくとも負を
 一に後痛きハ以事なるを益の廣を放さんより先臨小治をとお意此功を達
 一と宣ひ事。そ米馬とを玉ふ原兼信長いさく事をも心小志をぬ大將
 一と信盛後小動氣どうけも遠一言より起ると斯ん實小博むまふ事
 一り。然やどに信長ハ一潰小馬を蒐させさる。遠小先へ進むあり。信長是小
 一退つれ至ハ何者あるぞと回ひ至ハ。若田又左衛門佐内藏助。福原左衛門
 一湯治。志助。戸田平左衛門。多木左吉。赤尾左衛門。下。方左近。富田助右
 一出。備。小。治。と。鞍。巻。小。治。と。答。へ。り。信。長。殊。小。治。感。心。有。り。今。宵。の。先。陣。ハ。手
 一あ。で。外。小。治。と。思。ひ。小。治。こ。そ。急。う。さ。り。し。ぞ。急。げ。や。の。そ。げ。と。折。捨。擇。有。り
 一還。殘。さ。し。と。る。新。倉。將。兵。折。伏。柳。伏。進。ん。ご。り。茲。小。治。と。教。示。の。通。路。三
 一條。あり。小。治。進。め。中。内。の。退。路。小。治。西。小。向。ハ。引。回。口。あり。い。づ。も。小。治。死。て。還。作

やと。後。田。將。兵。遠。原。小。治。將。兵。一。と。退。り。伏。せ。よ。く。視。ま。が。中。内。只。こ。そ。大。將
 一走。り。さ。る。る。由。北。路。當。て。追。蒐。を。又。推。出。を。ま。ま。而。本。小。治。吉。治。為。也。也
 一多。勢。中。内。ハ。包。う。て。還。さ。と。る。の。は。義。宗。ハ。宗。徒。の。輩。と。引。回。口。と。還。さ。ぬ。也
 一是。還。軍。の。量。計。あり。利。や。引。回。口。の。地。ハ。新。倉。方。の。城。居。小。治。防。ぎ。む
 一づ。れ。要。處。あり。義。宗。必。定。教。領。と。當。て。還。陣。せ。し。め。行。か。ら。ん。小。引
 一回。口。より。刀。祢。坂。さ。し。て。追。殺。さ。す。一。の。以。も。敢。ぬ。小。林。柳。藤。純。將。兵。義
 一系。柳。柳。殺。害。の。臣。家。倉。刀。祢。坂。より。敢。死。を。して。還。殺。す。は。り。中。内。の
 一諸。條。ハ。殺。害。の。人。堀。尾。一。これ。ハ。只。速。小。刀。祢。坂。傳。と。遂。せ。至。一。と。告。さ。る。小。治
 一然。が。こ。そ。信。長。柳。柳。柳。軍。長。小。柳。起。り。刀。祢。坂。は。し。て。追。蒐。さ。る

繪本豊臣勳功記四編卷之四了

